東京大学先端科学技術研究センター（略称：先端研）は、1987年の設立以来、学術の発展と社会の変化から生じる新たな課題への挑戦を行い、新領域を開拓することによって科学技術の発展に貢献することを使命としています。環境、エネルギー、情報、生物医化学、パリアフリー、社会科学の6つのカテゴリーのもと、50にのぼる研究室が文・理の垣根を越えた領域横断の研究活動を行っています。2020年には「先端アートデザイン分野」を創設し、論理のままならず感性を軸に異分野融合を進め、自然と共生するための多様な解を導く新たな科学技術の姿を探求。第一線のデザイナーや音楽家などと共に、科学技術とアートの協働を進めています。大学教育の成果を社会実装すべく国内外の自治体と連携協定を結び、地域固有の課題と先端研のシーズをつなぐことでSDGsの達成に資する多様な取り組みの展開や、障害を持つ人たちも含めて皆が主役となって働くことができる新たな社会像の構築を目指しています。東大学を位置づける研究者ほどは唯一、博士後期課程（工学系研究科先端学際理工学専攻）を設置し、開口の広い独自の入試とカリキュラムで、イノベーションを生み出す力を持った人材育成にも取り組んでいます。

概要 2022年4月現在
設立 1987年5月
所長 杉山正和（2022年4月1日～）

教職員・学生数
教授 28
准教授 13
講師 2
助教 42
特任研究員 47
事務・技術職員 32
学生 1627（うち先端学際工学専攻102）

学術交流協定締結等
自治体 15（うち国2）
海外研究機関との国際協定 22

研究分野
知能工学分野、生命応答化学分野、技術経営分野、パリアフリー分野、情報ベイシス分野、経営戦略、生命知能システム分野、エネルギー環境分野、新エネルギー分野、小型デバイス理工学分野、情報通信システム分野、解説医化学分野、気候変動科学分野、エネルギー化学テクノロジー分野、量子情報工学分野、行政行政システム分野、光学科学分野、理化学分野、当世者研究分野、合成生物学分野、高機能材料分野、合成情報問題、コミュニケーション科学分野、共創まちづくり分野、エネルギーシステム分野、ニュートリオマテクノロジー分野、生命体サイエンス分野、ロボティクス生命科学分野、科学技術政策研究、グローバルセキュリティ・発展分野、クリーンエネルギー分野、マシンインテリジェンス分野、インクルーシブデザイン実装分野、構築生命科学分野、先端アートデザイン分野、ゲノムサイエンス・メディシン分野、計算物質科学分野、地球環境化学分野、社会情報システム分野、水素エネルギー分野、生物多様性・生態系サービス分野、ライフサイクル工学分野、ルール形成戦略分野

財務状況（2021年度）
7割以上を外部資金で運営

アクセス
〒153-8904
東京都目黒区駒場4丁目6番1号

研究連携研究部門 寄付研究部門
再生可能燃料のグローバルネットワーク、感染症制御戦略、省エネ住宅再生成、昆虫制御空間デザイン、モビリティ学、先端アートデザイン、ゲノムサイエンス・メディシン、次世代エネルギーシステムの開発、市民共生型スマートシティ、先端物理科学、個別教育の学び研究

附属施設
附属 産学連携新エネルギー研究施設

©2022 東京大学先端科学技術研究センター（2022.07）